

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶「町民大学」 「グラウンドゴルフ大会」

●日時
9月26日(火)午前8時30分集合、午前8時45分開始

●場所
グリーンパル甲佐

●参加料
300円(スティック借用の場合100円が必要です)

●入賞
男女各5位まで表彰
※飲み物などは各自ご準備ください。
※雨天の場合は中止となります。

●申込み締め切り
9月20日(水)

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

イザーの中川有紀さんが「公民館活動と地域づくり」と題して講演。中川さんは「これまでの公民館講



▲町生涯学習センターで開催された郡公民館連合会研修会

町公民館 「郡公民館連合会研修会」

7月18日(火)町生涯学習センター・ホールで、平成29年度上益城郡公民館連合会研修会が開催されました。上益城管内公民館関係者など55人が参加しました。県教育委員会総括アドバ

8月21日(月)学童保育「くるみクラブ」で、「出前子ども講座」をしました。夏休みの学童保育に小学生25人が参加し「パルンスライム」と「プラホ

公民館主催講座の紹介 「子ども講座」を開催

み、息を入れて風船のように膨らますことができるのです。それぞれ好きな色に着色して作りました。「プラホビー」は、キャラクターや絵をプラスチック板にマジックで書いて、穴を開けてトースターで熱を加えてできるキーホルダー

座は、趣味・けいこ事に関する講座が多く、利用者が特定の方に限られる傾向があった。今後は、子どもや若者、働き盛りの世代を含め、地域住民が気軽に集えることが求められている」と訴えました。研修会の最後に、郡公民館連合会長が「公民館の役割で、学校、家庭および地域社会との連携が重要であることなど、活動のヒントをいただきました」と謝辞を述べました。



▲学童保育「くるみクラブ」で開催された出前子ども講座

「ビ」の2つを作りました。講師は市下克幸さん(下横田区)。「スライム」は、ストローの先をスライムで包

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●7月28日(金)学校人権教育部会課題別研修会を開催

7月28日(金)甲佐小学校で、学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。

同研修会は、同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けてすべての町教職員の基本的認識を深めることを目的に、甲佐町学校人権教育部会(松田秀喜会長)が開催。講演会と4つの分科会で実施し、町内の保育園の保育士や学校の教職員など101人が参加しました。

講演会では、講師の県立熊本工業



高等学校定時制教諭・猪股浩介さんが「家族のきずな」と題して講演しました。猪股さんは、1997年に南関町人権フェスティバルに向けて結成された人権バンドの活動を通し、人権について少し肩の力を抜いて考えてみよう、と、玉名・南関地域に勤務

していた小中高の教員5人でバンドを結成し活動をスタートされました。

参加者からは、「歌と語りを通して、障がい者差別、結婚差別、自分の心の中に差別があることなど、多くの話が聞けました」、「人権教育を通して、自分自身の生き方が問われていると感じました」などの感想が寄せられました。

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)

Library

町生涯学習センター図書室からの9月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第3木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時 9月21日(木)
午前10時30分
場所 図書室おはなしのへや

心にしみる人情ミステリーの傑作 道尾 秀介著 / 『満月の泥枕』



毎日新聞出版
小説

娘を失った男・二美男と、母に捨てられた少女・汐子は、貧乏アパートで、その暮らしの生活を送る。アパートの住人は駅アリ人間ばかりで、ひよんなことから不可解な事件に巻き込まれていくことになる…。笑いあり、驚きあり、涙あり。生の悲哀、人の優しさが心に沁(し)みる人情ミステリー。おすすめの1冊です。

やさしいファンタジーのお月見絵本 あまん きみこ文 / 『おつきみ』



ひさかたチャイルド
児童書

今夜は十五夜。えっちゃんはお月見の準備に大忙し。お団子をお供えてススキを飾ったころ、空に大きな雲が広がりました。このままではお月見ができないと、えっちゃんと飼猫のミウはおもちゃ箱にのって、大きな雲のでかぐもさんのところへ飛んでいくのですが…。やわらかな色合いがとても素敵なお月見ファンタジーの絵本です。

熊本・わさもん医師の「改革」 亀山 早苗著 / 『日本一赤ちゃんが産まれる病院』



中央公論新社
一般書

熊本城のお蔭元、熊本市中心部にある福田病院では、年間6,000人もの赤ちゃんが産まれている。理事長の福田茂綱(しげる)氏は「安心安全は大前提だが、幸せに産むことも大事なのではないか」という思いから、患者さんのために改革を続けてきた。「わさもん」医師の発想力と行動力に迫った、読み応えのあるノンフィクションです。

個性あふれる博物館を探検 三浦 しをん著 / 『ぐるぐる博物館』



実業之日本社
児童娯楽

博物館が大好きな著者が、興味のおもむくまま、全国の面白そうな博物館を訪ね、国立科学博物館をはじめ、めがねミュージアムなど、まじめに、ときに妄想を膨らませつつ、お宝や珍品に迫ります。人類史、鉱物、漫画、伝統工など、さまざまな世界の魅力を著者の視点を通じて楽しめます。好奇心とユーモア全開の胸躍るルボエッセイです。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

この本は、いわゆる世間一般的にいう「普通」ではない人間側の思考や行動を、その人物視点で描かれています。

36歳未婚女性の古倉恵子。大学卒業後も結婚や就職をせず、子供の頃から「普通じゃない」と言われ続けてきました。そんな古倉を唯一正常にしてくれるのが大学生の時から始めたコンビニのアルバイトでした。

今月の案内人



中島 健智さん
〔総務課〕

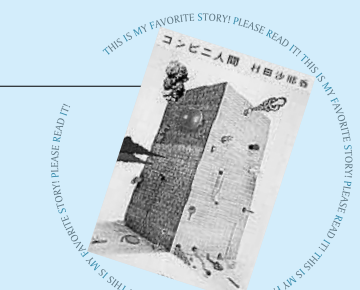
平穏なコンビニ生活を送っていたある日、婚活目的の男性、白羽がコンビニの新人アルバイトとし

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『コンビニ人間』(村田 沙耶佳著)
36歳未婚女性・古倉恵子。大卒後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼女なし。「普通」とは何か? 現代の実存を軽やかに問う衝撃作。

てやってきました。古橋に対し白羽はそんなコンビニ的な生き方は恥ずかしいと突きつけます。二人の普通じゃない考え方や生き方に、正直共感を感じず、全然幸せな気分にもなれません。

しかし、後半古倉の思いもよらない行動から起こる展開にどんどん引き込まれていきます。そして、衝撃の結末にあっけにとられると同時に古橋のコンビニアルバイトとしての矜持、労



働観に拍手を送りたくありません。著者の村田沙耶佳さんも、この本で芥川賞を受賞したとき実際にコンビニのアルバイトとして働いていました。

著者のコンビニに対する熱き想い、そして多くの古橋のようなコンビニアルバイトに支えられて世の中のコンビニは成立しているのだと実感できる本です。